



第5回 日本酒学シンポジウム

日本酒学の発信 活動と期待

2022
11.15(火)
13:15-17:05

参加費 無料

会場 ホテルイタリア軒 3階 サンマルコ ▼申込みはこちら▼

ハイブリッド形式
(現地およびオンライン配信)

定員 現地 150名
オンライン 200名



QRコードまたは下記のURL
よりお申込みください。

<https://forms.gle/4WLef5kZVdZdK4FL7>

申込期限:11.10

13:15 はじめに
牛木 辰男
新潟大学長

第1部 日本の伝統文化としての 日本酒の国内外への発信

13:25 招待講演 日本博による文化観光資源の見える化
根来 恭子
日本博事務局長(独立行政法人日本芸術文化振興会 審議役)

13:55 日本博による日本酒学を介した日本の伝統文化/
日本酒の魅力発信
新潟大学日本酒学センター

14:15 日本酒の地域経済学
佐藤 淳
金沢学院大学 経済学部 教授

14:45 日本酒の魅力を世界に伝えるために酒蔵にできること
今田 周三
日本酒造組合中央会 日本の酒情報館館長

15:15 一休憩

第2部 「日本酒学」発展への取り組み

15:35 日本酒学センター活動全体像
新潟大学日本酒学センター

15:55 日本酒学センター研究全体像
新潟大学日本酒学センター

酒米減肥栽培でつくる日本酒の味わい
宮本 託志 新潟大学日本酒学センター 特任助教

酵母研究から日本酒学への展開
西田 郁久 新潟大学日本酒学センター 特任助教

近世庶民生活における酒の位置付け
一酒の文芸表現、そして薬としての酒をめぐって—
畑 有紀 新潟大学日本酒学センター 特任助教

細胞死研究から拓く日本酒学
佐藤 菜美 新潟大学日本酒学センター 特任助教

内分泌代謝学・糖尿病学から日本酒学への展開
山本 正彦 新潟大学日本酒学センター 特任助教

16:55 おわりに
金桶 光起 新潟県醸造試験場長
大平 俊治 新潟県酒造組合会長
末吉 邦 新潟大学理事・副学長

主催 新潟大学、新潟県、新潟県酒造組合

助成 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会